

市内6地区でPTA研修会

市PTA協議会では、六地区に地区研修会費と今年度も各地区では多彩な研修を行った。

勉強とーT

十月二十二日東部A地区研修会が実施された。前半は「なぜ勉強するの」をテーマに塾講師を務める長岡正剛さんが入試や学びの大切さを講演。



東部A地区研修会で熱心に聞ける参加者たち

後半は「ITの光と影」と題して市教育センター塩津弘昭さん、中野俊治さんがビデオ上映を交え、ITの実態と情報モラル教育の重要性を説明した。

教育者の熱いメッセージ

七月十六日東部B地区研修会を行った。講師に第一高校大畑誠也校長を招き、「十一世紀の人(本物づくり)」と題して、長年の教育実践を通して培われた教育者としての熱いメッセージが伝わった。「子育て」という部分にとらわれず、人としてどうあるべきか、深く考え

人生自分が主役

十一月十一日、西部地区交流会が人権落語家の露の新治師匠を招いて開かれ、



西部地区で講師を務めた人権落語家の露の新治師匠

百二十四人が参加した。師匠は「自分の人生自分が主役。私達はパイナップルの缶詰みたいに表面を同じに削られ、薄くスライスされ

五分科会に二百八十五人

十一月五日南部地区研修会が開かれた。「高校入試改革」子どものサインを見逃さない「コミュニケーション」

心が抜かれている。自恋(自信)を持って生きようと呼びかけた。身近な差別意識を考える良い機会となった。

挨拶の大切さを痛感

北部B地区研修会は、十二月十日、第一高校大畑誠也校長の講演。会場にはなぜか第一高校の生徒もおおびで参加。大畑校長の講演は市PTA関係で今年3回目の超人気講演である。



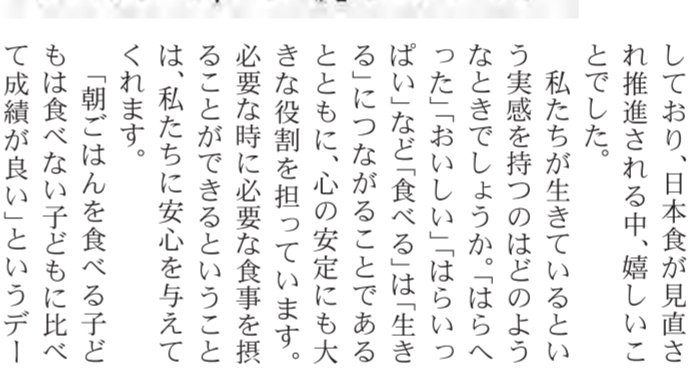
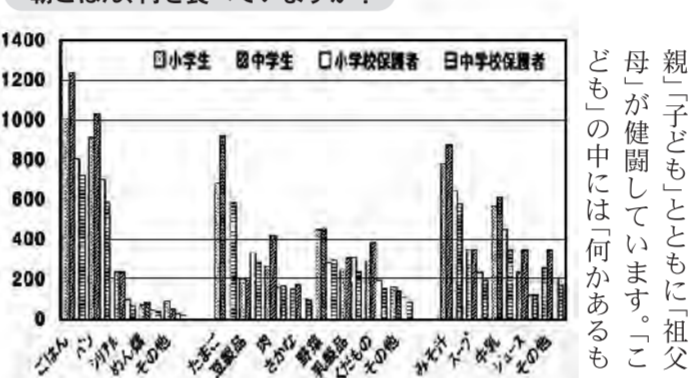
北部A地区研修会でのCAPワークショップの様子

心の安定にも大きな役割

朝ごはんアンケート 愛護委員会

朝ごはん調査の中で、私たちは「朝ごはんは誰かが準備してくれるもの」という考えに出会いました。朝ごはんは「あれば食べるも

	小学生 女子	小学生 男子	中学生 女子	中学生 男子	小学校保護者	中学校保護者
はい	616 (97.6%)	626 (97.7%)	735 (95.8%)	703 (94.6%)	888 (92.9%)	794 (94.2%)
いいえ	15 (2.4%)	15 (2.3%)	32 (4.2%)	40 (5.4%)	67 (7.1%)	48 (5.8%)



編集後記

不慣れた編集を担当しました。前期編集長の原田会長に文字校正・レイアウト等を助けていただきました。ありがとうございます。

くまもと市PTA会報

熊本市PTA協議会
会長 森 徳和
編集責任者 宮 副 哲郎
発行所 熊本市PTA協議会
熊本市草葉町5-1
TEL(356)1122
FAX(351)2309

朝ごはんを出す高校が話題に 市P研究大会に七百人が参加



「21世紀の人(本物)づくり」と題して基調講演を行う県立第一高校の大畑誠也校長

直そう子どもたちの生活、食・体力・心の豊かさを求めて「子育て」二十一世紀の人(本物)づくりという

育実践を通してと題し、県立第一高等学校の大畑誠也校長が基調講演を行った。大畑先生は、今まで担任した高校で実践してきたことをユーモアを交え、ありのままに語った。

話題になった。菊池高校では、朝の挨拶運動を実施。家族への挨拶調査で成果を上げ、朝の校門一礼をする生徒が増えた。評判になり県外から視察を受けるまでになった。

分科会「朝ごはん」は「体力低下」有害環境の三会場に分かれ、各テーマに沿って情報提供や活発な意見交換が行われた。

不審者情報が発見し、弱者被害が続く。通学途中、自宅塾の行き帰り、それどころか塾の中でも、凄惨な事件に巻き込まれる。子どもの安全な居場所は無くなったのか。

今、子どもたちが危ない。平成一七年六月末現在、県の安全には基準などない。出ることから今すぐ！

暴力に屈するな。小六の時、秘密で半年程空手を習った。噂では入学予定中学は荒れた。噂では最大の防衛。入学と同時に喧嘩は日常茶飯事。眼(がん)を飛ばし続けた。しかし、挫折は訪れた。その相手は強く、ボコボコ。▼漫画などでは、頬をアッパー、鉄味に殴られ飛んでいくが現実ではまずない。後頭部を左手で固定され、眼のところに右ストリートが入ると半端ではない。▼暴力に溺れた自分の間近を白状したアドバイスしたい。日本は法治国家。力が支配する世界ではない。暴行は刑事事件。自分は何もしてないなら一一〇番通報する勇氣はない。もしあったら何処でも一一〇番。法律は君達を守ってくれるはず。

分科会報告

第1分科会 朝ごはんを食べよう

「朝ごはんを食べよう」をテーマに学校給食託麻共同調理場栄養士の坂本鉄子さんが講演。朝食を食べない子どもたちが多くなっている現状を話された。また、熊本県歯科衛生士会会長の福本厚子さんから「嘔吐」ことの大切さとお口のケアについて話され、身近な話に参加者は熱心に聞き入った。

第2分科会 バランスが大事

熊本機能病院の米満弘之総院長が「子どもの体力低下」について講演した。昔の子どもと今の子どもとの体力の違い、体力・心力・能力の全部のバランスの大切さなどについて資料をもとに詳しく説明した。

第3分科会 子どもを取り巻く有害環境

東部中学校の峯崎剛教授がネット社会の現実と望ましい関わり方について講演。有害情報の氾濫、喧嘩や誹謗中傷のメールや掲示板などについて報告した。インターネットは授業でも使用し不良サイトを制限しているが、家庭では何も対処できていないと話した。

第3分科会に参加した保護者の一言 ネットオークション？はあ〜？ 我が家で最も息子が毎晩メールをしているが、ある日ネットオークションでシューズを買っていかたと聞かれ「トラブルも多いからやめて」と言った。現にトラブルも多いとは思うが親のネット社会に対する知識不足が現状かも。



十月二十九日から三十日の二日間、第五十回九州PTA研究大会が福岡市で開催されました。九州各県から約一万人が参加。家庭教育や学習活動など十の分科会に分かれ討議が行われました。

龍田中PTAが事例発表 九州PTA研究大会。十月二十九日から三十日の二日間、第五十回九州PTA研究大会が福岡市で開催されました。九州各県から約一万人が参加。家庭教育や学習活動など十の分科会に分かれ討議が行われました。

暴力に屈するな。小六の時、秘密で半年程空手を習った。噂では入学予定中学は荒れた。噂では最大の防衛。入学と同時に喧嘩は日常茶飯事。眼(がん)を飛ばし続けた。しかし、挫折は訪れた。その相手は強く、ボコボコ。▼漫画などでは、頬をアッパー、鉄味に殴られ飛んでいくが現実ではまずない。後頭部を左手で固定され、眼のところに右ストリートが入ると半端ではない。▼暴力に溺れた自分の間近を白状したアドバイスしたい。日本は法治国家。力が支配する世界ではない。暴行は刑事事件。自分は何もしてないなら一一〇番通報する勇氣はない。もしあったら何処でも一一〇番。法律は君達を守ってくれるはず。

広報委員会では、単位PTAのIT化についてアンケートを実施し、その中から取材を行った。

IT化 防犯対策で迫られる

広報委員会は、ITに関する環境及び利用状況について各単位PTAに対しアンケートを行った。パソコンの所有状況については、PTAとして所有しているものも、役員所有のものも利用するなど、利用は広がっているようだが、使途は主に文書・会計帳簿類の作成、デジタル写真の保存・整理、広報紙の編集などに利用されている。インターネットへの接続状況については、ほとんどの単Pが接続していない。理由としては、設置場所が学校で、PTA独自に回線

PTAの回線接続が課題 IT環境アンケート

広報委員会

が引けない事によるもの。ホームページを持つという単Pはまだまだ少ない。その理由としては、PTAのパソコンがインターネットに接続していない「管理費がない」「二重管理費がかかりすぎる」「保護者全般がパソコンの利用がまだ普及していない」等があげられている。PTA会員への連絡にメール携帯メールを含む）は約半数の学校で利用されている。最近では、個人情報保護の観点から、連絡網の作成が困難になってきたことや、留守宅が多く、連絡が徹底しないことなどがあるなかで、携帯電話を持つという人が多く、通信費も安く、早く、確実に本人に伝わるなどの利点から、利用が増えているのではないかと思われる。

全国で話題の校区サイト 岡山王国 岡山小学校

小学校区の地域コミュニティサイトとして全国的に有名な「岡山王国」というホームページを存知だろうか。そのホームページを管理しているのは岡山小学校前PTA会長の赤松祐さん。「岡山王国」は、まちづくりの一環として平成十五年一

月一日に立ち上げられたホームページで内容は幼小中それぞれを含めた地域情報、その他、フリー掲示板、さまざまな掲示板、知得生活情報など多岐にわたる。運営に掛かる経費は「向山王国」は、まちづくり委員会が支出している。

立ち上げ前の約一ヶ月間は、仕事やPTA活動の合間に睡眠時間を削って準備した。その後も、一人で更新などの管理をしている。「単Pでの管理は、引継ぎの問題、技術的な問題など運営は難しいのでは」と個人の方に頼るしかない現実を課題点としてあげている。忙しい中これだけの充実したホームページを継続して管理しているのは原動力となるいくつかの理由がある。まず、このホームページを通して地域の各種団体の行事など、情報が一括できるという点で、平均年齢が高い各種団体にPTA会員を誘導できる。また、「向山王国」があることにより、異世



向山校区コミュニティサイト「向山王国」。とにかくスゴイ。ぜひ一度アクセスを http://www.kouzsan-tod.com/

「ITの利用と環境に関するアンケート」市P広報委員会（回答100/118単位PTA）

1. PTA所有のパソコン	ある(60)ない(37)	所有予定(1)未回答(2)
2. インターネット接続	ある(3)ない(61)	未回答(36)
3. PTAのホームページ	ある(4)ない(79)	未回答(17)
4. 会員への連絡にメールの利用(携帯を含む)を利用している	ある(41)ない(51)	未回答(8)



ホームページを更新する赤松祐さん

地域のHPからメール配信 若葉小・泉ヶ丘小で開始

若葉小学校PTAでは、地域のホームページを使って保護者へのメール配信を行っている。保護者全世界のうち四分の一にあたる百十世帯のアドレスが登録され、今年一月から運用が開始されている。記事の配

信は、基本的に学校から依頼があったものを管理者現在PTA会長が管理者が一斉に流すもので、一般保護者からの投稿は管理者の承認がなければ配信されず、不意な記事の配信はないようにシステムが設定されている。学校PTAでのメール配信は、何よりその費用をどうするかが問題である。保護者世帯の八割の費用が見込めれば、PTAで予算化することも可能であるが、現状では携帯電話やインターネット環境のない保護者の問題を考えると年間十万円から二十万円の予算化は難しい。そこで考えられたのが、既存のサイトを利用して、PTAの費用負担なしでメール配信を行うことであった。利用されている「けんぐんひろば」というサイトは、東野中学校区四校PTA東野中・秋津小・若葉小・泉ヶ丘小と健康商店街・NT

全保護者の9割へ配信 碩谷小PTAメール

碩谷小学校PTAでは、十一月から単位PTA全会員を対象としたメール配信システムを導入した。システムが二百件未満のため年間予算は約九万円。保護者世帯数の約九割が加入している。今年度は各学級に加入促進を行うIT係を創設し、啓発活動を行った。導入時苦労したことは、携帯電話の設定が迷惑メール等の影響でインターネット経由のメールの着信拒否の人が多かったこと。各社毎の設定マニュアルをIT係に配布するなどして対処した。



「碩谷小 原田 靖士」

現在、管理はPTA会長が行っているが、この方法が難しいと思われる。学校とPTAの共同配信が望ましいと思われるが、現時点では、業務多忙、個人情報取り扱いなどの観点から学校側からの配信は困難なことである。各学年毎や会員限定で配信が可能なため、来年度以降電話連絡網を未登録会員限定のものに切り替え、登録者は電話連絡網から除外する予定。このことによつて

配信件数は多く、一月には二十本を全PTA会員に配信している。メールの内容は、学校提供の不審者情報「保護者提供の不審者情報」「防犯パトロール報告」「県警ゆっぴー安心メール」の中から近隣事件等の転送・「校区内の火災情報」「学校・PTA行事の告知」「同天候計速報」「防犯等への保護者からの投稿など。反応は「メールが多すぎる」という意見がある反面「ありがたい」と「どんどん活用すべき」といった意見が多い。

碩谷小PTAメール配信例

(例1) 学校から不審者情報の電話があったため配信したのも不審者情報です。昨日00日の00:00~00:00頃、碩谷小から00へ向かう道で低学年女子児童の0人連れが0000男性に「こっちおいで」と声をかけられたとのこと。この情報は、プライバシー保護の観点及び発生時点での違法性が不明なため保護者等のみへの情報発信とします。(例2) 保護者から不審者情報のメールが投稿されたため転送したのも保護者の方から不審者に関する情報です。0年の保護者です。先日、学校が終わってから、近くのスーパーに1人でお菓子を買いに行った所、変な男の人に、店の中をずっと付いて回られて大変怖い思いをして、逃げて帰って来ました。本当に怖いので、みなさんも気を付けて頂きたいと思っております。(例3) 学校行事に関する報告「親子防犯教室に00人」今日、親子防犯教室が行われ、全児童と保護者00人が参加、関心の高さが窺えた。北郷生活安全課が指導。犯人役の00先生が児童役の00先生を自動車で誘いに誘おうと悪戯を悪例として問題点を話し合っ。命を守るために覚えることとして「いっわのおしるし」を学んだ。いかならない、おおええええええ、すぐににげる。顔文字をつなげたもの。(例4) PTA行事の変更情報 本日予定しておりました00公園の親子ボランティア清掃は、雨天のため延期します。

画図小学校は周辺を田に囲まれたのかな学校です。地域との交流が活発で、れんげ祭り、や校区買祭り、大綱引き大会、田ん中サツカー大会、子どもや等子どもたちが楽しめる行事が地域の方々の協力のもと

単P紹介 地域の協力で大綱引き 画図小PTA



画図小学校は周辺を田に囲まれたのかな学校です。地域との交流が活発で、れんげ祭り、や校区買祭り、大綱引き大会、田ん中サツカー大会、子どもや等子どもたちが楽しめる行事が地域の方々の協力のもと

と四季を通じて行われていく。特に九月の第一週に行われる大綱引き大会は、二十五年位前に一人の保護者の発案で始まった行事です。わらを集めての綱から始まり、地域の方々の指導の下、五年生が中心となり、半年かけて綱を練ります。その実話をもとに画図小誌「みんかせボランティア」えづららん」では創作紙芝

若葉小学校PTAでは、地域のホームページを使って保護者へのメール配信を行っている。保護者全世界のうち四分の一にあたる百十世帯のアドレスが登録され、今年一月から運用が開始されている。記事の配

PTAも活用を 熊本県警 ゆっぴー安心メール

居を作成し、毎年子どもたちに話を紹介しています。地域のつながりを大切に守る活動は子どもたちを見守る多くの目を画図小に引き付けていきます。【画図小 野田 幸代】



ゆっぴー安心メールは県警本部から配信される

十二月九日、鮎田西小学校で、人権学習会が開かれました。

人権学習会に 新本さん 鮎田西小PTA



講師は、新本高志さん。赤い自転車でパウンドケーキを売って回ること有名な新本さんは、自らの体験から、差別がいかに生きているかを話されました。子どもは、親のするように育てられ、親のするように育つ」と保護者をテックリ、繰り返し人権学習会を通して学ぶことの重要性を痛感するひと時となりました。【鮎田西小 鶴岡 明美】